



世界に希望を生み出そう

- ◆国際ロータリー会長
ゴードン R. マッキナリー
- ◆第2660地区ガバナー 延原 健二
- ◆クラブテーマ「会員増強」

本日例会 2023年 9月 7日(木) 第942回

担当：国際奉仕委員会

卓話：「司法書士が感じる
最近の不動産事情」
水谷 武志 会員

前回例会 2023年 8月24日(木) 第941回

- 開会 会長
- ロータリーソング「我等の生業」
- ニコニコ箱報告(小計3,000円 累計100,000円)
福田会員 卓話をよろしく。
- 委員会報告
中道副会長 例会時のタスキ作成報告
- 幹事報告
○会議開催連絡
8/26(土) 青少年奉仕合同委員長会議
福田青少年委員長出席
8/29(火) インターアクト合同会議
福田青少年委員長出席
○回覧 9/21(木) 親睦食事会出欠確認回覧
○例会休会連絡 8月31日(木) 細則休会
- 出席報告(会員総数19名・内休会1名)
8月24日 出席13名 欠席6名 出席率72.22%
メイクアップ報告
7月 6日 出席15名 欠席4名 出席率83.33%
(メイクアップ者 2名)
- 会長の時間
- 本日のプログラム
担当：社会奉仕委員会
卓話：「インターアクト研修旅行
(福島) 報告」
卓話者：福田 治夫 会員
- 閉会 会長
○親睦食会場 「マジョリカ」

会長の時間

◆ロータリーの誕生とその成長

20世紀初頭のシカゴの街は、著しい社会経済の発展の陰で、商業道德の欠如が目につくようになっていました。

ちょうどそのころ、ここに事務所を構えていた青年弁護士ポール・ハリスはこの風潮に堪えかね、友人3人と語らって、お互いに信頼のできる公正な取引をし、仕事上の付き合いがそのまま親友関係にまで発展するような仲間を増やしたい、という趣旨でロータリークラブという会合を考えました。ロータリーとは集会を各自の事務所持ち回りで順番に開くことから名付けられたものです。

こうして1905年2月23日にシカゴ・ロータリークラブが誕生しました。

それからは志を同じくするクラブが、つぎつぎ各地に生まれ、国境を越えて、今では200以上の国と地域に広がり、クラブ数33,234、会員総数1,219,102人(2009年2月28日RI公式発表)に達しています。このように、歴史的に見ても、ロータリーとは職業倫理を重んずる実業人、専門職業人の集まりなのです。その組織が地球の隅々にまで拡大するにつれて、ロータリーは世界に眼を開いて、幅広い奉仕活動を求められるようになり、現在は多方面にわたって多大の貢献をしています。

なお、世界中のロータリークラブとロータリーアクトクラブの連合体を国際ロータリーと称します

(ロータリーの友8月号「ロータリーとは」より抜粋)

次回例会 2023年 9月14日(木) 第943回

卓話担当：クラブ運営委員会
藤井俊章 会員

9月の予定

- 9月7日(木) 通常例会
- 14日(木) 通常例会
- 21日(木) 親睦例会
親睦食事会場「芦刈」(京阪百貨店7階)
アゴーラでの例会後に移動します。
- 28日(木) 細則休会



卓話 「インターアクト研修旅行 (福島) 報告」

福田 治夫青少年委員長

- ◆ 1 日目 8月1日(火)
- 7:30 伊丹空港集合
 - 8:00～ 結団式
 - 12:25 仙台空港着
仙台空港内津波浸水水位柱
パネル見学
 - 14:45 パルセ飯坂着
 - 15:00 福島のRC・学校と開会式
挨拶・各校紹介
 - 16:40 2日目のグループで活動
 - 18:30 吉川屋着
 - 19:00 夕食・入浴・就寝
 - 22:00 教員・RC・看護師打合せ

- ◆ 2 日目 8月2日(水)
- 7:00 朝食
 - 8:30 吉川屋発
 - 9:30 相馬市第二体育館着
震災講話
 - 11:00 8箇所に別れグループ活動
 - ①防災備蓄倉庫
 - ②飯豊ファーム
 - ③千客万来館
 - ④相馬市歴史収蔵間
 - ⑤水産資源研究所
 - ⑥J A P E X
 - ⑦相馬市港湾事務所
 - ⑧レナトス相馬
 - 12:30 Nリゾート着・昼食
 - 13:30 発表準備・発表
 - 16:00 解団式
 - 18:00 吉川屋着
 - 19:00 夕食・入浴・就寝
 - 22:00 教員・RC・看護師打合せ

- ◆ 3 日目 8月3日(木)
- 7:00 朝食
 - 9:15 吉川屋発
 - 9:30 マルセイ果樹園着
お話・桃畑見学
 - 11:30 松島着 自主研修
 - 15:00 松島着
 - 15:40 仙台空港着
 - 19:05 伊丹空港着

インターアクトとは何か

★インターアクトは、12歳から18歳までの青少年のための奉仕クラブです。

★提唱クラブと共に奉仕プロジェクトを計画し、実行する。

インターアクトの成り立ち

★インターアクトとは

「Interaction (国際的活動)」を意味します

★1962年、米国フロリダ州メルボルン高校にて最初のクラブが結成されました

★今日では、世界150以上の国と地域に24,645ものクラブがあり、青少年の会員数は約56万人にも上ります。

(2019年8月現在)

世界と日本のインターアクト数

★全世界のインターアクト数…24,645校

★主な国のインターアクト数…

アメリカ…5,784校

インド… 8,623校

ブラジル…1,077校

フィリピン… 1,157校

韓国… 741校

日本… 633校

グアム・サイパン、ミクロネシア連邦、パラオ含む

(2019年8月資料)

インターアクトクラブの活動内容

地区合同行事

8月 海外研修

11月 年次大会

12月 地区大会参加

3月 スクラム発行

6月 新入生歓迎会

海外研修

8月上旬に3泊4日で研修先のインターアクトクラブと親睦交流を図りながら奉仕活動を行う。

各学校での取り組み

募金活動や地域の清掃活動など各学校の地域ニーズに合った奉仕活動を実施している。また提唱クラブとの合同事業も行っている。

(8.24配布資料より抜粋)